

授業概要

家庭、学校の 2 つの領域について人間関係をとらえ、さらに人間関係の諸側面としてさまざまな人間関係の理論を概観する。ていく。人間関係の形成初期は家庭において行われる。基本は夫婦間、親子間、きょうだい間の関係であるが、それらの特徴やダイナミクスについて検討する。学校においては、教師と児童・生徒間の関係、児童・生徒内の関係に焦点をあて、特にリーダーシップを議論する。人間関係の諸側面については、集団の人間関係やチームの組み合わせの問題などを追う。家庭や学校の各領域においてストレスや心身の健康を題材として織り込み、各領域における現代的な問題も授業のテーマとしていく。

授業計画

第 1 回	授業の進め方と諸注意および授業の概要について
第 2 回	乳幼児期における人間関係 1 (出生前後)
第 3 回	乳幼児期における人間関係 2 (幼児期)
第 4 回	学童期における人間関係 (教師と児童・生徒との関係)
第 5 回	学童期における人間関係 (児童・生徒の関係)
第 6 回	学童期における人間関係 (社会構造からとらえる)
第 7 回	人間関係の諸側面 (権威勾配-コックピット内)
第 8 回	人間関係の諸側面 (権威勾配-原子力発電所運転室, 大学生)
第 9 回	人間関係の諸側面 (人間関係とストレス)
第 10 回	人間関係の諸側面 (論理療法)
第 11 回	人間関係の諸側面 (チームの組み合わせ I)
第 12 回	人間関係の諸側面 (チームの組み合わせ II)
第 13 回	人間関係の諸側面 (対人魅力)
第 14 回	人間関係の諸側面 (コールドリーディング ÷ 占い師の心の読み方)
第 15 回	人間関係の諸側面 (コールドリーディング ÷ 詐欺師などにだまされないために)
第 16 回	総まとめ (筆記試験)

到達目標

人間関係がどのように発達していくのかを理解する。また、人間関係と言っても様々なものがあり、それぞれの人間関係の特徴について理解し、人間関係がどのような影響を与えているのかを検討できるようにする。

履修上の注意

積極的な意見、質問を歓迎する。ただし、私語は厳禁。

予習・復習

テキストの該当箇所を予め読んでいてもらいたい。資料とテキストを付け合わせて確認し、復習をしてもらいたい。

評価方法

授業の参加性 (60%) とテスト結果 (40%) をもとに評価する。

テキスト

特に指定しない。